

CARD MEDIUM

取扱説明書

CARD MEDIUMは、熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野で開発された、マウス体外受精用培地です。内容品をご確認いただき、作製方法を熟読の上、ご使用下さい。

内容品

アンプル管A	ガラス瓶B	1.5mLチューブC	1.5mLチューブD
2.5mL注射筒	注射針	フィルター (ポアサイズ 0.22 μ m)	

保存について

冷暗所(4℃)で保存してください。保存期間については、アンプル管およびガラス瓶に貼付されたラベルをご参照下さい。

CARD MEDIUM原液および希釈液は、作製後直ちにご使用下さい。

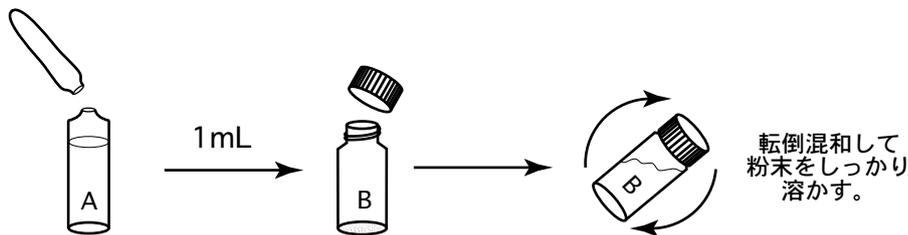
注意事項

動物の治療など研究目的以外に使用することはできません。

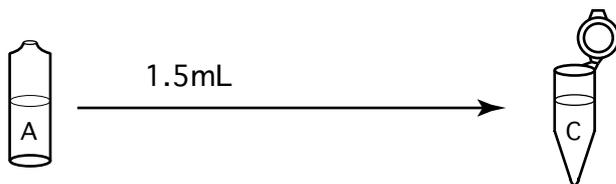
人体に有害な成分は含んでいませんが、飲んだり、体に塗布したりしないで下さい。

作製方法 (採卵10分前に作製)

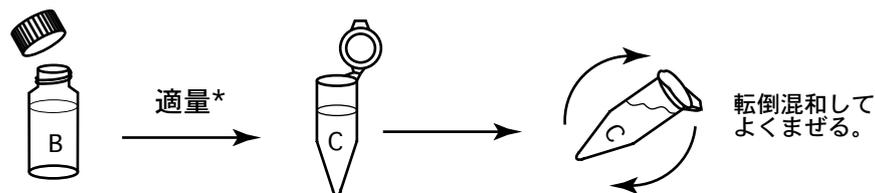
1) アンプルAから1mLの培養液をガラス瓶Bに加え、フタをして良く混和する。



2) アンプルAから1.5 mLの培養液をチューブCに加える。



3) チューブCの中にB液を適量*加えて、希釈する。



適量*

凍結-融解された精子を用いて体外受精する場合は、

15 μ LのB液をチューブCに加えてください。

冷蔵輸送された精巣上体尾部から採取した精子を用いて体外受精する場合は、

7.5 μ LのB液をチューブCに加えてください。

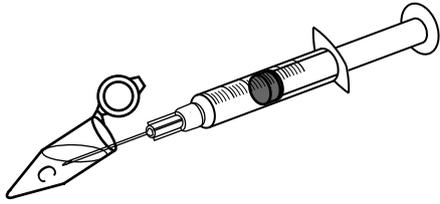
体外受精率が低いマウス系統の新鮮精子を用いて体外受精する場合は、

3.75 μ LのB液をチューブCに加えてください。

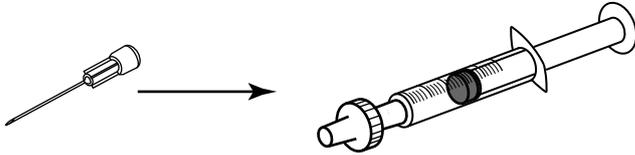
受精卵子を凍結するために体外受精する場合は、

2.25 μ LのB液をチューブCに加えてください。

4) 注射筒に針を接続し、Cの液をすべて注射筒に吸引する。

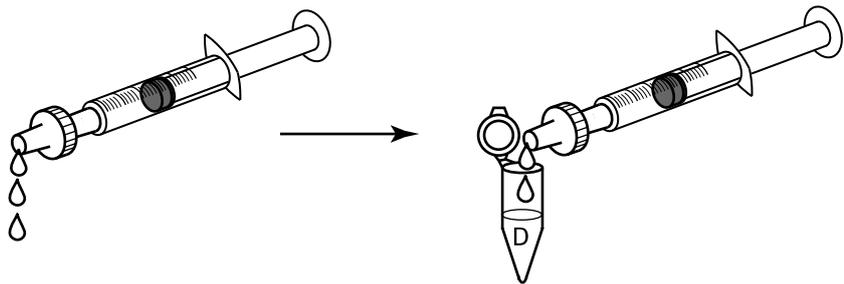


5) 注射針を外し、注射筒先端にフィルターを取り付ける。



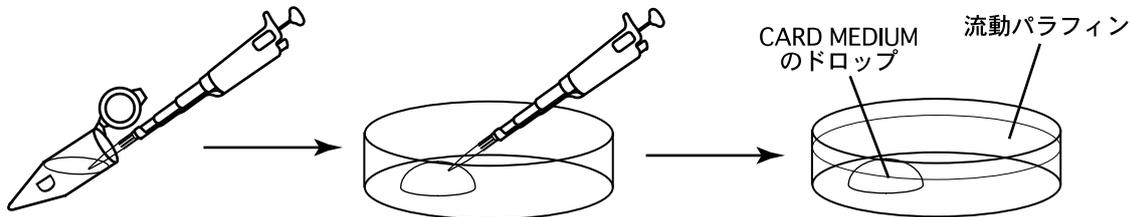
6) 内筒を押して、液を2~3滴捨てた後、チューブDに残りの液を入れる。

* 作製した液の効果は、作製後4~5時間です。



7) チューブDの液(CARD MEDIUM)を用いて、ドロップをシャーレに作製する。

凍結-融解精子での体外受精の場合は、90 μ LのCARD MEDIUMでドロップを作製する。
冷蔵輸送された尾部の場合、または、受精率の低い系統(例: 129、BALB/cなど)の雄マウス(新鮮精子)を使う場合は、200 μ LのCARD MEDIUMでドロップを作製する。



8) 雌マウスから採取した未受精卵子をCARD MEDIUMのドロップに導入し、体外受精を行う。

* 高い受精率を得るために、FERTIUP®-精子前培養培地での精子の前培養をお勧めいたします。
FERTIUP® については、以下をご参照下さい。

<http://www.kyudo.co.jp/Fertiup/FER-TOP-jp.html>

マウスの体外受精方法など、生殖工学技術全般については、以下をご参照下さい。

熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野 オンライン生殖工学技術マニュアル
<http://card.medic.kumamoto-u.ac.jp/card/japanese/kenkyu/sigen/manuals.html>



【製造・販売】 九動株式会社

技術開発室

〒841-0075 佐賀県鳥栖市立石町惣楽883-1

TEL : 0942-82-6519

FAX : 0942-85-3175

E-mail : fertiup@kyudo.co.jp